

1 題材名 こんなときどうするか考えよう

2 題材について

本学級は、6名が在籍している。主に、他学年や同学年で小集団によって学習を進めるため、それぞれの実態に合わせた課題を行い、個別に支援しながら進めている。少人数の落ち着いた雰囲気の本学級で学習を進めている。

本題材は、学校生活を描いた絵カードを用いて、これが「どういう場面」で、「どういう気持ちか」、そこで「どうすればよいか」という状況の認知と気持ち、対処法を考え身に付けていくことを目標にしている。学校生活の中での自分の言動が、どのような結果となるかを考えていくことは、本児にとって大切なスキルで、このようなスキルトレーニングを続けることで、周りの人と円滑なコミュニケーションを取れることをねらいとしている。自分の主張だけでなく、相手の気持ちを受け入れた言動の取り方を身に付けさせ、日常生活の中でも、自分の言動を相手がどう思うかを考えながら友達と関わることができるように促し、適切な言動によって友達とよい関係が作れるようにする。

指導にあたっては、1時間の学習の流れを提示し、見通しをもって取り組めるようにする。複数の活動を組み合わせて展開することで、集中が途切れないようにする。「準備タイム」の聞き取りの活動では、本児の苦手な視覚的処理の力を高めるため、教師の音読から大事な言葉を聞き取り、ワークシートの絵を見て答えていく活動に取り組ませる。「チャレンジ」のSSTの絵カードを用いた活動では、絵カードの場面を確かめ、このようなときどうすればよいかを考えさせていく。スキル学習の後には、「リラックスタイム」として本児の得意なシュートゲームを取り入れ、ルールを守りながら楽しい雰囲気の中で活動できるようにする。また、活動を振り返る時間を設定し、自分の良かった活動を意識化し、日常生活や交流学級の中で活用していけるようにしたい。

3 児童の実態と個別目標

氏名	題材における実態	題材における目標
A	- 言葉で聞いて理解することより、目で見えて情報を処理する力が弱い。 - 集中することに困難があり、指示を聞き取れない。 - 自分中心の言動が多く、人の気持ちを考えた言動が難しい。 - 相手や周りの状況を考えない。	- 活動に見通しをもち、気持ちを切り替えながら取り組むことができる。〈2-(2)〉 - 状況をよく見たり、聞いたりして活動に取り組むことができる。〈3-(2)〉 - 人の話を最後まで聞くことができる。〈6-(2)〉 - 場面に応じて話題に関係のある言動をすることができる。〈6-(5)〉

4 指導計画と評価（7時間取り扱い） ○は本時

月	時間数	主な学習内容・活動	評価
6	1 ② 3 4	- 見る、聞くトレーニングを行う。 - 絵カードやゲームを通して場面をとらえ、どうすればよいかを考える。 - 絵カードやゲームを通して、場面や相手の気持ちを考える活動をする。	- 大事なことを聞き落とさないようにしている。 - 話を聞いて場面を判断し、場に応じたよりよい言動を考えることができる。 - 状況を判断し、ルールに沿ってよりよい対処方法や気持ちを理解することができる。
7	5～7		

5 本時の指導

(1) 個別目標

A:場面の状況をとらえ、場に合った適切な言動を考える活動をすることができる。〈2-(2)〉 〈3-(2)〉

(2) 準備・資料

・学習予定表 ・聞き取りワークシート ・SST 絵カード ・シュートゲーム ・デジタル教科書

(3) 展開

学習活動・内容	教師の指導・支援と評価【合理的配慮】 ○考えや思いを発信するための手立て
1 始めの挨拶をする。 ・姿勢の確認をする。 ・日付を確認する。	・姿勢を整えて挨拶することで、気持ちが学習に向くようにする。 【(1)-2-3】 〈2-(2)〉
2 本時の学習内容を知る。 (1)本時の学習の流れを確認する。 ・準備タイム「見る・聞くトレーニング」 ・チャレンジタイム「どうすればよいか」 ・リラックスタイム「シュートゲーム」 (2)学習課題を確認する。 こんなときどうするか考えよう。	・学習予定表で、本時の学習の流れを提示し、見通しをもって取り組めるようにする。 【(1)-2-2】 〈3-(2)〉 ・本時は、絵カードを使ってどんな場面でどうすればよいか考える活動を行うことを知らせる。
3 見る・聞くトレーニングを行う。 (1)漢字のフラッシュカードを読む。 (2)聞き取りワークシートに答える。	・デジタル教科書の漢字カードの読む速さを調節し、取り組みやすくする。 ・話をよく聞いて取り組み、大事な言葉はメモすることを確認する。 【(1)-2-1】 ・児童の聞き取る様子、メモの取り方を見ながら、教師がはっきりと音読する。 ・絵の内容を確認して、答え合わせをしていく。 ・気持ちを想像することが難しいときや、適切でない想像が出てきたときは、補助発問をして、もう一度考えさせるようにする。 【(1)-1-1】 ・自分中心ではなく、周りを考えた対処法になるよう、適切な言葉かけをする。 ○児童がつぶやいた言葉を取り上げ、板書していく。 ・ロールプレイで、どのような言い方がよいか考えて練習する。 〈3-(2)〉 (評)場面の状況を考えて、場に合った言動をを考えて活動することができる。 (発表・観察)
4 絵カードを見て、場面、気持ち、こんなときどうすればよいかを考える。 (1)列の割り込みをしている ・並ばずにプリントをもって走っている。 ・早く見てもらいたい。 ・列の後ろに並ぶ。 (2)掃除中 ・黒板に落書きしている。 ・楽しい。自分の役が分からない。 ・何をすればよいか、聞く。	・デジタル教科書の漢字カードの読む速さを調節し、取り組みやすくする。 ・話をよく聞いて取り組み、大事な言葉はメモすることを確認する。 【(1)-2-1】 ・児童の聞き取る様子、メモの取り方を見ながら、教師がはっきりと音読する。 ・絵の内容を確認して、答え合わせをしていく。 ・気持ちを想像することが難しいときや、適切でない想像が出てきたときは、補助発問をして、もう一度考えさせるようにする。 【(1)-1-1】 ・自分中心ではなく、周りを考えた対処法になるよう、適切な言葉かけをする。 ○児童がつぶやいた言葉を取り上げ、板書していく。 ・ロールプレイで、どのような言い方がよいか考えて練習する。 〈3-(2)〉 (評)場面の状況を考えて、場に合った言動をを考えて活動することができる。 (発表・観察)
5 シュートゲームをする。 (1)やり方やルールを確認する。 (2)ゲームをする。	・ボールを投げる距離を変えて、活動に変化をもたせる。 【(1)-2-3】 ・集計表に回数を記録して、意欲的に取り組めるようにする。 ・終了時刻を意識するように、タイマーをセットする。 ・用具を片付け、活動の振り返りができるようにする。 【目標を達成した児童の姿】 発表の様子 ・場面の状況をとらえ、場に合った言動を考える活動することができた。
6 学習のまとめと、振り返りをする。	○具体的な質問をして、感想を引き出す。 ・よかったことを称賛し、次時の意欲につなげる。